

2019年5月●●日

●●●保育園

園長 ●●●

お願い：マダニ刺咬予防と対策について

山や林はもちろん、あぜ道、川辺の草むらなど、出かけている場所の名称を具体的に。

保護者の皆さまもご存知の通り、私どもの園では日常の活動として●●●、●●●に屋外活動に出かけます。蚊などの虫刺され対策についてはすでにお伝えしている通りです。

一方で近年、最高／最低気温の上昇もあり、吸血性のダニ（マダニ類）による被害の増加も言われています。子どもがマダニに吸血された事例も報告されているようです。

対策をしていないなら、「こうした対策をします」と書いて、実行してください。マダニ刺咬は重篤な疾患の原因にもなりますから。

園としては、屋外活動に際しては**長袖・長ズボン**を着る、**忌避剤（イカリジン）を噴霧するなどの予防対策**をしています。けれども、子どもが草むらなどに近寄る以上、マダニの被害の可能性をゼロにすることはできません。屋外活動以外の時や、家の庭などでも危険はあります。

林野庁や国立感染症研究所の情報によると、入浴の時に頭髪の中や全身をチェックすることが重要なようです。全身チェックは園では難しいことですので、各ご家庭でどうぞお願いいたします。

林野庁によると、「**刺咬される可能性の高い頭部（髪の毛の中）、耳の中、耳の後部、首の周り、わきの下、そけい部、大腿内側、膝の後部などにダニがいないか、刺咬痕がないか確認してください**」とのこと。もしマダニに咬まれていた場合には、引き抜かず、医療機関を受診してください。

参考資料：「マダニ対策：今できること」（国立感染症研究所）。「森林内等の作業におけるマダニ刺咬予防対策」（林野庁）。どちらもタイトルで検索すると見られます。